

# 長岡技大の国際展開

# VOS

itality

iginality

ervices

2022▶2023



*Toward*

*The World*



**UNITED NATIONS**  
**academic**  
**impact**

Sharing  
a Culture  
of Intellectual  
Social  
Responsibility

**SUSTAINABLE**  
**DEVELOPMENT**  
**GOALS**

- ・高等教育に必要とされるスキル、知識を習得する機会を全ての人に提供する
- ・世界各国の高等教育制度において、能力を育成する
- ・持続可能性を推進する

# 長岡技大が目指す国際交流

長岡技大は、創立以来約40年以上の間にきわめて**特異な国際交流を展開し**、グローバル社会に対応した教育・研究システムの礎を築き上げてきました。また、技大の特徴である全国の高専と連携し、一体となることで、世界に類をみない大規模な国際性豊かな高等教育研究組織体を形成することが可能な環境にあります。

今後も、これらのリソースを最大限に活用し、日本の技術力・ものづくり文化を世界に広め、異文化・自国文化を理解した実践的グローバル人材を社会に送り出し、世界に貢献することで、激動するグローバル時代においても「**確固たる存在感のある長岡技大**」を目指します。

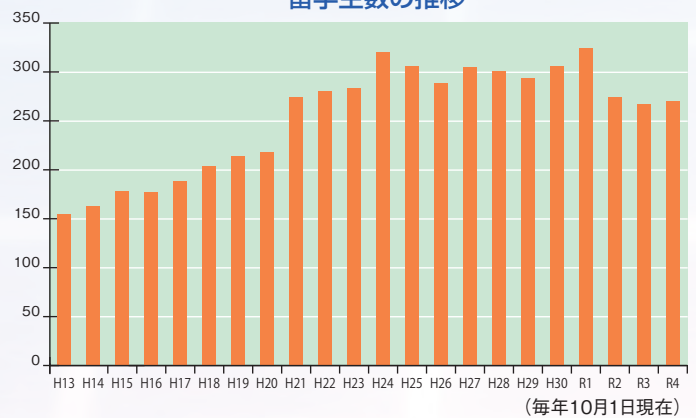
## 1 広がる国際ネットワーク 国際交流の実績

長岡技大は、発展目覚ましい東アジア・東南アジア諸国、中南米諸国などを中心として、各国の大学・研究機関等と国際学術交流協定を締結するとともに、多くの外国人留学生・研究者を受入れており、全世界に広がるグローバルな技術者育成教育・研究ネットワークを構築しています。また、高専等との連携により、海外の大学・研究機関等から最先端研究情報等を収集、分析する体制の構築を目指しています。

- 学術交流協定 32の国・地域 111機関  
(海外の大学・研究機関、部局間協定も含む)
- 外国人留学生 22の国・地域 265人(学生総数の約12%)
- 海外現地事務所 (令和5年1月1日現在)  
ベトナム：ハノイ、ホーチミン/  
メキシコ：モンテレイ、グアナフアト/  
タイ：バンコク/インド：チェンナイ/  
マレーシア：ペナン/  
モンゴル：ウランバートル/  
スペイン：バスク/チリ：サンティアゴ/  
ルーマニア：ブカレスト、クルジュナポカ



留学生数の推移



### 「スーパーグローバル大学創成支援」事業

本学のプログラムは、高校・高専を含めた実践的技術者育成システムを海外に展開する「技学教育研究ネットワーク構築」と産学連携モデルを海外拠点に展開する「技学テクノパークネットワーク構築」により「次世代の戦略的地域との強固なネットワークを持ち、世界を牽引する実践的グローバル技術者教育を先導し続ける大学」を目指します。

#### グローバル産学官融合キャンパス

国際連携教育 (GIGAKU 教育研究ネットワーク) 及び国際的な産学官連携 (GIGAKU テクノパークネットワーク) を核としたネットワーク。次世代の戦略的地域と強固に結びつき、共同教育・共同研究開発を行います。



#### GIGAKU 教育研究ネットワーク

学生の自由なキャンパス間移動によるグローバル人材育成、世界各地に技学を基礎とするエンジニアの輩出

#### GIGAKU テクノパークネットワーク

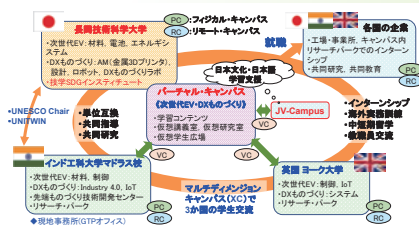
産学官連携モデルの海外展開により日系企業のグローバル化を支援、牽引し、社会のニーズに応える実践的グローバル技術者を育成

### 大学の世界展開力強化事業

国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指し、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行うアジア・米国・欧州等の大学との国際教育連携の取り組みを支援することを目的として、文部科学省が実施している事業です。

#### マルチディメンジョン・キャンパスでのデュアルインターンシップを活用した国際協働学習プログラム (令和4年度～令和8年度)

本事業では、連携大学である英国のヨーク大学及びインドのインド工科大学マドラス校と、対面型、リモート型、バーチャル型の交流を効果的に組み合わせたマルチディメンジョン・キャンパス (XC) を構築し、本学と連携大学の学生がいつでもどこからでも交流しながら学習できる環境を実現します。



### ここが特色!

- 留学生比率 (約12~14%) は国立大学トップクラスです。
- ベトナム、マレーシア、タイ、メキシコ、モンゴルなどの急速に発展しつつある国々から多くの留学生を受入れています。
- 長岡技大の活動範囲は、世界人口の約90%の国・地域をカバーしています。

# 2 世界とつながる教育プログラム

## 国際連携教育プログラムの構築

長岡技大は、国立大学法人化以前より海外の大学との協働教育プログラムを開発し、国立大学として初めてツィニング・プログラムを導入するなど、国際連携教育プログラムの開発・運用においてパイオニアです。ツィニング・プログラムでは、日本語で専門技術が分かる数多くの学生を社会に輩出し、卒業生の多くが国内企業や現地企業の指導的技術者として活躍するなど、大きな成果をあげています。

また、大学院生レベルの国際連携として修士課程・博士後期課程のダブルディグリー・プログラムを実施するなど、教育の質の保証を確保しつつ、新たな国際連携教育プログラムの構築に取り組んでいます。

### 国際連携教育プログラム

#### ○ツィニング・プログラム（学部生対象）

- ベトナムTP（ハノイ工科大学、ホーチミン市工科大学、ダナン工科大学）
- メキシコTP（モンテレイ大学、ヌエボレオン大学）
- 中国TP（鄭州大学）
- マレーシアTP（マレーシア日本高等教育プログラム〔UniKLJUP〕）
- モンゴルTP（モンゴル科学技術大学〔M-JEED〕）

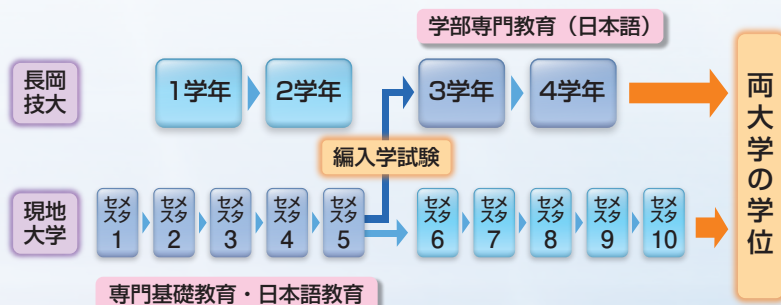
#### ○ダブルディグリー・プログラム（大学院生対象）

- グアナファト大学（メキシコ）（修士課程・博士後期課程）
- チュラロンコン大学（タイ）（修士課程・博士後期課程）
- ハノイ工科大学（ベトナム）（修士課程）

#### ○博士論文共同指導制度

- インド工科大学マドラス校（インド）

### ツィニング・プログラム（学部）基本スキーム



ツィニング・プログラム（Twinning Program）では、学部の前半（通常2.5年）は現地の大学にて日本語教育及び専門基礎教育、後半2年は日本において専門教育を実施し、プログラムを修了すると両大学の学位が取得できます。

### SDGプロフェッショナルコース（修士課程・博士後期課程）

本学は、持続可能な開発目標（SDGs）の視点を取り入れた教育プログラムを確立するため、本学の実践的な技術者教育プログラム（技学教育）に、世界が直面する共通課題であるSDGsを取り入れた「技学SDGインスティテュート」を構築、UNESCO Chair事業として申請し、2018年5月に認定されました。本コースは、その一要素である留学生向けの大学院プログラムとして、高度な専門性と多様な視野を有する実践的技術者・研究者及び高度な工学教育の担い手を育成することを目的としており、文部科学省の国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムに採択されています。



### ダブルディグリー・プログラム（大学院）基本スキーム 博士後期課程の場合



### 短期留学生受入プログラム

#### ○Nagaoka Summer School for Young Engineers (NASSYE)

毎年8月に約2週間、海外の大学に在籍する学部第3学年の学生を対象とした短期留学生受入プログラムを実施しています。

内容は、本学の研究室に滞在し、専門分野の研究を通じた日本の科学技術イノベーション、学修環境、生活環境等を体験します。期間中は研究室での課題等に取り組むほか、企業見学や在学生との交流を深めるための日本文化体験を行います。

対象人数は約20人で、毎年、学術交流協定校を含む全世界の大学から約100～120人の応募があります。参加者の中には、その後本学や日本の大学院に進学を希望する者も多く、内容において高い満足度を得ています。



#### ○ツィニング・プログラム夏期集中プログラム

メキシコ、ベトナム、中国とのツィニング・プログラムについては、学部の前半教育段階において、本学に出願、入学するにあたり、十分なオリエンテーションを行うべく、約2週間の夏期集中プログラムを実施しています。

内容は、日本語授業、日本語による専門科目の授業や研究室体験等を中心とし、本学の学修環境、生活環境等を体験することを目的としており、参加者はこの夏期集中プログラムを経験することで、本学留学へのモチベーションを高めています。



### ここが特色!

- 国立大学初のツィニング・プログラムを創始し、強力で推進しています。
- パートナー大学の発展に寄与し、ゆるぎない「絆」を構築しています。

- 工学教育のユニバーサルデザイン化では多くの成果を出しています。
  - 平易な日本語（PJ：Plain Japanese）による工学教育の実践 など

# 3 飛躍するグローバル人材

## 実践的グローバル人材の育成

グローバル社会が到来し、工業技術、生産・価格、人材の世界レベルの競争が始まっています。今後、「技術立国」日本を支える人材は臆することなく世界に飛び込む実践的・創造的技術者です。

長岡技大は、開学以来独自の長期インターンシップ科目「実務訓練」を行っており、日本人学生の「内向き」が指摘されているなか、グローバル社会に対応するべく海外への派遣を積極的に進めていくとともに新たな海外実務訓練先の開拓も行っています。

今後も、海外機関との交流等を通し、日本人学生の海外活動の機会をさらに増やし、国際感覚豊かな学生を育成する「**双方向の交流**」を目指します。

### 【実務訓練制度の概要】

社会との密接な接触を通じて、将来、指導的技術者として活躍する際に、必要となる人間性の陶冶と、実践的技術感覚を体得させることを目的として、学部第4学年後半に約5か月間、企業、官公庁等において実務訓練（インターンシップ）を昭和54年より実施しており、平成2年からは海外へも派遣先を広げました。

### 【海外実務訓練】（平成2年より実施）

#### ○令和4年度実績

派遣学生：10人 派遣国：4カ国 10機関

#### ○これまでの実績（令和4年度まで）

\* 派遣学生（累計） 994人

\* 派遣国・派遣地域

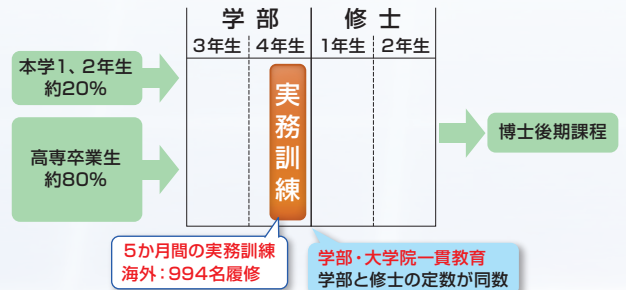
イギリス、インド、インドネシア、オーストラリア、スペイン、タイ、ドイツ、ノルウェー、フランス、ベトナム、マレーシア、メキシコ、ロシア、フィリピン、ルーマニアなど

\* 海外派遣企業・研究所

ヨーク日本電子ナノセンター（イギリス）、Mitsubishi Electric R&D Centre Europe (MERCE)（フランス）、メルセン (MERSEN)（フランス）、オーストラリア原子力科学技術機構（オーストラリア）、Schaeffler Technologies AG & Co.KG（ドイツ）、SINTEF（ノルウェー）、Advantest (M)（マレーシア）、アズビルプロダクション（タイ）、Western Digital（タイ）、Sangcharoen Tools Centers Co., Ltd.（タイ）、ダイキン工業タイランド（タイ）、東芝キャリアタイランド（タイ）、PT.MEKAR ARMADA JAYA（インドネシア）、PT Yokogawa Indonesia（インドネシア）、ソリマチベトナム（ベトナム）、YKKベトナム（ベトナム）、bGlobal Corporation（ベトナム）、株式会社アイエムリンクベトナム（ベトナム）、アベ・インダストリアル・ベトナム有会社（ベトナム）、N.B.A Trading and Production CO. LTD（ベトナム）、NexSeed Inc.（フィリピン）、FRISA（メキシコ）、Bucharest Robots（ルーマニア）など

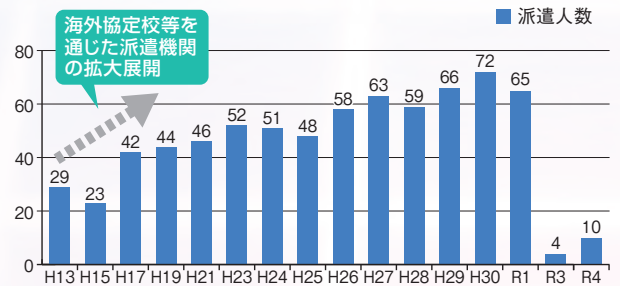
※令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で派遣数が減っていますが、コロナ禍前は毎年約60～70人が海外実務訓練を行っています。

### 実務訓練の概要



- H15年度 特色GPに採択（文部科学省）
- H15年度 工学教育賞・文部科学大臣賞受賞（日本工学教育協会）
- H30年度 大学等におけるインターンシップ表彰「優秀賞」（文部科学省）

### 海外実務訓練の実績



### 【海外実務訓練以外の主な海外留学】

海外実務訓練以外にも、これまでの学術交流実績等に基づいた様々な日本人学生の海外留学プログラムを用意しています。

主なものは以下のとおりです。

### 海外英語研修プログラム

■対象／学部2年生 行先／オーストラリア等

〈内容〉技術者として必要とされる英語力及び海外留学体験を学部前半から得るための約5週間の英語研修です。

### メキシコ・モンテレイ大学派遣プログラム（英語・スペイン語語学研修）

■対象／学部2年生・3年生 行先／メキシコ

〈内容〉約1か月間、現地での語学研修（英語、スペイン語）、企業見学、文化体験及び同年代のメキシコ学生との交流を通して、海外で／海外と仕事をすることを見据え、実践的なグローバル視点を養い、異文化理解を深めることを目標としています。

### 修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）

■対象／修士課程学生 行先／国・地域限定なし

〈内容〉将来グローバルに活躍できるイノベティブな人材の育成を目指すために修士課程において、3か月以上の期間、海外の大学・研究機関・企業等で修士研究テーマに関連したリサーチ・インターンシップを行います。

### グローバルリーダー養成のための短期海外派遣プログラム

■対象／修士課程・博士後期課程学生 行先／国・地域限定なし

〈内容〉約1～3か月間、海外経験を積み、外国語によるコミュニケーション能力、異文化の理解、世界で求められる素質・能力の強化を目指します。

また、海外の大学等で研究成果を発表し、プレゼンテーション能力の強化、研究能力の向上等を目指します。



### ここが特色!

- 約5か月にわたる長期海外インターンシップ（実務訓練）の機会を提供しています。
- 実務訓練生の約19%が海外でのインターンシップを選んでいきます。

# 4 社会と連携する大学

## 国際貢献活動、地域と連携した国際交流活動

長岡技大は、(独)国際協力機構(JICA)が実施する技術協力事業等に積極的に参加しています。特に東南アジア諸国等における高等教育開発計画においては数多くの教員を派遣する等、各国の高等教育機関の設立等に大きな貢献をしています。また、近年は科学技術振興機構(JST)の国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)により、アジア等の大学から学生等を積極的に受け入れ、科学技術分野の交流を行っています。

### ○国際貢献活動

#### 〈現在、協力を行っている活動〉

- \*モンゴル工学系高等教育支援事業(M-JEED)
- \*ベトナム及びモンゴル・人材育成奨学計画(JDS)
- \*マレーシア日本国際工科院(MJIIT)計画
- \*アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)
- \*日越大学(連携校連絡会に参加)

#### 〈過去に協力を行った活動〉

- \*インドネシア高等教育開発計画
- \*タイ・アジア工科大学専門家派遣
- \*タイ・パトムワン工業高等専門学校拡充計画
- \*タイ・タマサート大学工学部拡充計画
- \*インドネシア電気系ポリテクニク教員育成計画
- \*サウジアラビア・リヤド技術短期大学電子工学技術教育改善計画
- \*アフガニスタン中核人材育成プロジェクト
- \*東ティモール大学工学部能力向上プロジェクト

\*その他(中国内陸部人材育成事業、ベトナム・情報処理研修計画、ベトナム・メコン河流域水門モニタリング計画調査、ミャンマー・経済構造調整政策支援、エリトリア高等教育支援など)

### ここが特色!

- 発展途上国への技術協力実績は国内大学でも有数。
- 多くの教員が技術協力活動に参画。
- 支援した機関等からも多くの学生・研究者を受け入れ。

### モンゴル工学系高等教育支援事業(M-JEED)

モンゴルの主要2大学(モンゴル科学技術大学、モンゴル国立大学)の工学教育・研究の拡充を通じモンゴル産業界が必要とする工学系人材を育成することを目的としており、本学でも2018年4月からモンゴル科学技術大学のツイニング・プログラム学生を受け入れています。



### 人材育成奨学計画(JDS)

人材育成奨学計画(JDS)は、1999年度に設立された無償資金協力によるJICAの留学生受入事業です。

「対象国において将来指導者層となることが期待される優秀な若手行政官等を日本の大学院に留学生として受け入れ、帰国後は社会・経済開発計画の立案・実施において、留学中に得た専門知識を有する人材として活躍すること、日本の良さ理解者として両国友好関係の基盤の拡大と強化に貢献すること」を目的としています。本学も2018年9月から、交通インフラ整備の分野でベトナムからの留学生を受け入れており、2021年9月からは、モンゴルからの留学生も受け入れています。



### マレーシア日本国際工科院(MJIIT)

2001年にマハティール元マレーシア首相によって提唱されて以来、政府間で検討が進められてきた結果、2011年9月、マレーシア工科大学の傘下に独立性の高い工科院として開校しました。

東方政策の集大成と位置付けられ、日・マレーシア間の共同プロジェクトとして、講座制等の特色ある日本型工学教育による高度な専門性に基づく学術研究機関でASEANにおける日本式工学教育の拠点として発展していくことが期待されています。

本学も日本側コンソーシアム大学の1つとして協力しています。

### アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)

「ABEイニシアティブ」(African Business Education Initiative for Youth)は、アフリカの産業人材育成と日本企業のアフリカビジネスを現地でサポートする水先案内人の育成を目的として、アフリカの若者を日本に招き、日本の大学での修士号取得と日本企業でのインターン実施の機会を提供するJICAのプログラムです。本学もこれまで、南スーダン、ナイジェリア、セネガル、タンザニア、エチオピア、チュニジアからの留学生を受け入れています。



### 国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)

科学技術振興機構(JST)が、産学官の緊密な連携により、諸外国・地域の青少年を我が国に招へいし、我が国の青少年との科学技術分野の交流を行う事業で、日本及び世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的とするものです。

本学もこれまで、ベトナム、マレーシア、タイ、インド等の大学から、総勢300名以上の学生や研究者を招へいしています。



新潟県長岡市に位置する長岡技大は、新潟県国際交流協会、長岡市、長岡市国際交流センター、地域国際交流ボランティア等と地域と連携した国際交流活動を展開しています。また、地元企業の協力による留学生インターンシップの受け入れなど、地域企業の協力を得て日本企業の技術・企業文化の理解を促進するための活動も行っています。さらに、学生・留学生は自ら進んで地域のイベントに参加・協力するなど、地域コミュニティーと交流する風土が根付いています。

### ○長岡国際祭り

長岡市及び近隣地域市民等の国際交流及び異文化交流を目的として毎年実施各国の料理や踊り等のパフォーマンスが披露される。

### ○その他、地域の国際交流イベント

- \*地域の国際交流ボランティア(むつみ会等)との協力(留学生対象の生活相談を毎週開催)
- \*外国人による日本語スピーチコンテスト(むつみ会主催)
- \*留学生を国際交流講師として地域の小中学校へ派遣(「世界が先生—国際人材育成事業」長岡市)



### ここが特色!

- 地域密着型、顔の見える国際交流・異文化交流。
- 地域に支えられた国際交流。

# 国際交流 基礎データ



## 留学生数

(令和5年1月1日現在)

国・地域	区分等	学部正規生	大学院正規生			研究生等	合計
			修士課程	博士 後期課程	5年一貫制 博士課程		
アジア	インド		5				5
	インドネシア	1	1	2	2		6
	韓国	1					1
	カンボジア	1					1
	スリランカ		4	7	5	1	17
	タイ	1	2	4	4	2	13
	中国	6	36	20	2	4	68
	パキスタン		2	2			4
	バングラデシュ		3	4			7
	ベトナム	25	25	6	8		64
	マレーシア	9	3		1		13
	ミャンマー		1	1		1	3
	モンゴル	19	4	1	1		25
	ラオス	2					2
アフリカ	セネガル	1	1				2
	チュニジア					1	1
欧州	スペイン		1			3	4
	ルーマニア					1	1
中南米	コロンビア					1	1
	ペルー	1					1
	メキシコ	14	9		2		25
合計		81	98	47	25	14	265



国・地域		協定締結機関
アジア	インド	インド工科大学マドラス校、インド工科大学カラグプール校、インド工科大学ティルパティ校機械工学科※、インド工科大学インドール校材料科学科※、アグハルカル研究所心血管生物研究室※
	インドネシア	バンドン工科大学、インドネシア大学、プラディータ科学技術大学※
	韓国	ウルサン大学、釜山国立大学、ソガン大学李研究室※、忠南大学獣医学部※
	スリランカ	モラツワ大学
	ベトナム	ハノイ工科大学、ダナン大学、ホーチミン市工科大学、ホーチミン市技術教育大学、ベトナム海事大学、ベトナム原子力研究所、ホーチミン市科学大学、電力大学、ベトナム国家農業大学バイオテクノロジー学部※、サイゴン大学環境科学学科※
	タイ	タマサート大学、パトムワン工科大学、コンケン大学、ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校、国立科学技術開発機構、泰日工業大学、チュラロンコン大学、アジア工科大学、スラナリ工科大学、メーファールアン大学、カセサート大学、キングモンクット工科大学トンプリー校、パンヤピワット経営大学、タイ教育省職業教育局、チェンマイ大学工学部機械工学科※、シンクロトン放射光研究所※、キングモンクット工科大学ノースバンコク校電気・コンピュータ工学科※
	台湾	国立台北科技大学
	中国	大連理工大学、河海大学、鄭州大学、重慶交通大学、河南理工大学、南華大学核科学技術学院※
	マレーシア	マラヤ大学、マレーシア工科大学、マレーシア科学大学、マラ工科大学、マレーシア国民大学、トゥン・フセイン・オン・マレーシア大学、マラッカ工業大学
	ミャンマー	ヤンゴン工科大学、ヤンゴン情報技術大学
	モンゴル	モンゴル科学技術大学
	大洋州	オーストラリア
欧州	イギリス	ヨーク大学電子工学科※、ノッティンガム大学パワーエレクトロニクス・機械制御グループ※
	スイス	チューリッヒ応用科学大学工学部、スイス連邦工科大学チューリッヒ校パワーエレクトロニクスシステム研究室※、スイス連邦工科大学ローザンヌ校パワーエレクトロニクス研究室※
	スペイン	カタルニア工科大学、デウスト大学、生体材料共同研究センター、モンドラゴン大学、バスク州立ナノテクノロジー研究所※
	チェコ共和国	カレル大学数学・物理学部物理学科※、プラズマ科学研究所※
	ドイツ	ダルムシュタット工科大学、応用科学大学、ヴェルツブルクシュヴァインフルト応用科学大学、ドイツゴム研究所※
	ノルウェー	ノルウェー科学技術大学情報・電気工学部
	ハンガリー	ミシュコルツ大学
	フランス	パリ大学クレティユヴァルドマルヌ校、アミアン電子電気工学技術高等学院※、リモージュ大学セラミックス研究所※、リモージュ大学工科学校※、トゥール大学ブロア技術研究院※、フランス国立科学研究センター燃焼・熱・反応・環境研究所※
	ベルギー	アントワープ大学工学部※
	ポーランド	AGH 科学技術大学※
	ルーマニア	ルーマニア・アメリカン大学、ブカレスト経済大学、バベシュ・ボヤイ大学、オラデア大学※
	アゼルバイジャン	アゼルバイジャン科学アカデミーバクー物理学研究所
ロシア連邦	極東国立交通大学、モスクワ国立大学	
北米	アメリカ	コー大学物理学科※、ピッツバーグ大学泌尿器科吉村研究室※
	カナダ	マニトバ大学
中南米	チリ	チリ大学、フェデリコサンタマリア工科大学、アントファガスタ大学、北カトリック大学、コンセプション大学
	ベネズエラ	シモン・ボリバル大学
	メキシコ	グアナファト大学、ミチョアカナ大学、モンテレイ工科大学、ヌエボレオン大学、モンテレイ大学、レジオモンタナ大学、シウダーファレス大学、シナロア州立大学工学部※
中東	トルコ	オンドックスマイ大学※
アフリカ	南アフリカ	ツワネ工科大学

※部局間又は研究室間協定

## 成 果 物

日本語学習途上の留学生への集中講義を積極的にFD (Faculty Development) の機会ととらえ、事前研修—講義—フォローアップを実施、学内外の教員に開放 (FD道場)

- ◎FD効果とともに、日本語教育へのフィードバックが可能
- ◎研修テキスト「はじめての集中講義物語」の出版

日本語教育に専門基礎の内容を取込んだ、「機械工学で学ぶ中級日本語」、「建設工学で学ぶ中級日本語」、「これから工学を学ぶ留学生のためのほんご練習帳」の出版  
専門教員と日本語教員との協働の成果

平易な日本語で工学基礎科目 (技術者倫理) を記述した「歴史と人物に学ぶ技術者の責任」の出版



工学用語辞書 (ベトナム語、タイ語、マレー語、中国語、スペイン語、インドネシア語、韓国語、モンゴル語) を出版

出版物は、全国の高専や関係機関に配布し、一部は学術情報リポジトリ等にも公開

はじめての集中講義物語



建設工学で学ぶ中級日本語 (3か国語版)

## 留 学 生 へ の サ ポ ー ト

### 【入学後の生活サポート】

入学後は、グローバル教育センターが中心となり、留学生の日常生活、大学生活、修学、健康等についてサポートやアドバイスを行うとともに、チューター制度により、渡日後の3か月間は、身近な日本人学生がチューターとして付き、幅広くサポートを行います。

留学生用の宿舎には、合計で約150名の入居が可能で、経済的負担も軽減され、充実した学生生活を送ることが可能です。アパートに入居する者に対しては、契約にあたり、機関保証制度により、大学が機関として保証をします。

また、留学生が充実した大学生活を送れるよう、毎年、見学旅行、スキー研修、ホームステイ、交流懇談会等の行事を実施しています。

### 【入学後の学習サポート】

留学生が日本語・日本文化をスムーズに学べるよう、多様なニーズ、レベルに合わせた日本語授業を多数開講しています。

また、「留学生向けの日本語」を用いた工学教育方法の充実も図っています。平易な日本語 (Plain Japanese) を用いた工学基礎教材の開発や工学用語辞書の出版等により、留学生の専門科目の学習をサポートしています。



日本語の授業の様子



## Life@NUT

長岡市は、美味しい食べ物と四季折々の美しい自然、世界に通用する文化など、たくさんの魅力が溢れる都市です。そして、なによりそれらを支える温かい人たちの魅力で溢れています。

夏には「長岡まつり大花火大会」が開催され、日本全国から100万人以上の見物客が訪れます。前夜祭の「大民踊流し」には、多くの学生が揃いの浴衣で参加し、市民との交流を深めています。また、冬には一面の雪景色が楽しめます。

長岡技大は、長岡市街を見渡す丘陵に位置し、落ち着いた雰

気のカンパスには、日本全国から学生・教員たちが集結しています。

